

項目		
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	進行頭頸部癌 CRT 後の再発・転移検索に関する的確な検査スケジュールの構築
	研究目的	<p>【背景】近年、頭頸部癌の初回根治治療後の再発例や遠隔転移例に複数の薬物療法が標準治療として登場した。特に術後症例においては、PS が良好な状態での治療開始が重要である。</p> <p>【目的】頭頸部癌根治治療後の再発症例の経過より、再発診断の重要ポイントを後方視的に検討する。</p> <p>【対象および方法】2015 年 4 月～2020 年 3 月に頭頸部癌手術を施行した再発症例を対象とし、調査を行う。</p> <p>【予想される結果と今後への展望】調査内容から、必要な検査項目と間隔、期間を決め、検査スケジュール（案）を作成する。</p>
	研究対象者	進行頭頸部癌と診断され、2015 年 4 月～2020 年 3 月に当院で初回治療として化学放射線療法を施行した患者さん
	研究期間	西 暦 2020 年 10 月 26 日 ～ 西 暦 2022 年 3 月 30 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	古川まどか
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	頭頸部外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし